

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-511324 (P2005-511324A)

【公表日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報 2005-017

【出願番号】特願 2003-526970 (P2003-526970)

【国際特許分類】

B 2 4 D 11/00 (2006.01)

B 2 4 D 3/28 (2006.01)

C 0 8 J 5/14 (2006.01)

C 0 8 L 61/20 (2006.01)

【F I】

B 2 4 D 11/00 B

B 2 4 D 3/28

C 0 8 J 5/14 C F A

C 0 8 L 61:20

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 9 日 (2005.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの主表面を有するバッキングと、少なくとも 1 つのバインダーにより該バッキングの前記主表面の 1 つの少なくとも一部分に結合された複数の砥粒とを含む被覆研磨材物品であって、該バインダーが、塩酸、クエン酸、硝酸、硫酸、酢酸、リン酸およびそれらの組み合わせからなる群より選択される酸と次式：



(式中、R は、炭素原子 3 から 10 のアルキレン基である) のジアミンとの塩の少なくとも 1 つから本質的になる単一触媒の存在下で硬化された尿素ホルムアルデヒド樹脂前駆体を含む被覆研磨材物品において、

該バインダーが、更に要すれば雲母及び粘土から選択される酸性充填材又は中性充填材の少なくとも 1 つを含み、該バインダーが、更に要すれば強化材を含み、該バインダーが、メークコート、サイズコート又はスーパーサイズコートとして存在し、そして該触媒が、該尿素ホルムアルデヒド樹脂前駆体と触媒との総乾燥重量を基準として、約 1 重量% から約 2.5 重量% の量で存在する、被覆研磨材物品。

【請求項 2】

複数の砥粒、ならびに尿素ホルムアルデヒド樹脂前駆体溶液と、塩酸、クエン酸、硝酸、硫酸、酢酸、リン酸およびそれらの組み合わせからなる群より選択される酸および次式：



(式中、R は、炭素原子 3 から 10 のアルキレン基である) のジアミンの塩の少なくとも 1 つから本質的になる単一触媒の溶液とを含むバインダーをバッキングの主表面に被覆する工程と、前記尿素ホルムアルデヒド樹脂前駆体を硬化する工程とを包含する、被覆研磨材物品の製造方法において、

該バインダーが、更に要すれば雲母及び粘土から選択される酸性充填材又は中性充填材の少なくとも１つを含み、該バインダーが、更に要すれば強化材を含み、該バインダーが、メークコート、サイズコート又はスーパーサイズコートとして存在し、そして該触媒が、該尿素ホルムアルデヒド樹脂前駆体と触媒との総乾燥重量を基準として、約１重量％から約２５重量％の量で存在する、方法。

【請求項３】

塩酸、クエン酸、硝酸、硫酸、酢酸、リン酸およびそれらの組み合わせからなる群より選択される酸と次式：



（式中、Rは、炭素原子３から１０のアルキレン基である）のジアミンとの塩の少なくとも１つから本質的になる単一触媒の存在下で硬化された尿素ホルムアルデヒド樹脂前駆体を含む研磨材製品における使用に適切なバインダーにおいて、

該バインダーが、更に要すれば雲母及び粘土から選択される酸性充填材又は中性充填材の少なくとも１つを含み、該バインダーが、更に要すれば強化材を含み、該バインダーが、メークコート、サイズコート又はスーパーサイズコートとして存在し、そして該触媒が、該尿素ホルムアルデヒド樹脂前駆体と触媒との総乾燥重量を基準として、約１重量％から約２５重量％の量で存在する、バインダー。